

10月9日に天下

# 再開に喜びと感謝 感染対策を最優先

## 23 延岡市の子どもも5人も出演

秋の夜に「千人殺し」の石垣を背景に幽玄の世界へといざなう「第24回のべおか天下」新能か天下「新能(てんが)いちたきぎ」が10月9日午後5時30分から、延岡市の延岡城址(し)二の丸広場で行われる。主催は、NPO法人のべおか天下「市民交流機構(松下宏理事長)など。1997年から毎年続けられており、昨年は国文祭・芸文祭みやぎ2020分野

別フェスティバルの一つとして予定されていたが、新型コロナウイルスの影響で演目などはそのままだが、観世流能楽師シテ方の片山九郎右衛門さん、大感流狂言師の茂山千五郎さんら。同機構は「再開できることの喜びと感謝を込めつつ、安心して楽しんでいただく

第24回のべおか天下「新能のリーフレット」

令和3年(2021年) 10月9日(土) 15時開場 17時30分開演 [会場] 延岡城址二の丸広場

第24回のべおか天下「新能のリーフレット」

め感染対策を最優先に取り組む」としている。

演目は、同新能では初公演となる能橋弁慶(はしべんけい)、2005年以来2度目の公演となる能「葵上(あおいのうえ)」、千五郎さんらによる狂言「仏師(ぶつし)」。

同市の子ども(小学3年生、高校2年生)5人も出演し、3人が仕舞嵐山(あらしやま)「羽衣(はごろも)」を披露、2人が「橋弁慶」で牛若丸(子方)役と武蔵坊弁慶の従者(トモ)役に挑戦し、弁慶(シテ)役の九郎右衛門さんと共演する。



片山九郎右衛門さん

「橋弁慶」は、よく知られる牛若丸と弁慶の五条大橋での出会いを描いた曲で、後半の激しい戦いの場面が最大の見せ場。

「葵上」は源氏物語の「葵」の巻を元にした曲で、光源氏の正妻・葵上に嫉妬し、鬼にならざるを得なかった六条御息所(ろくじょうのみやすどころ)の深い悲しみが描かれる。今回は「梓之出(あずきので)」「空之祈(くうのいのり)の小書き(特殊演出)で公演される。



茂山千五郎さん

「仏師」は、詐欺師が田舎者の男をだまし、仏師を名乗って仏像作りを引き受ける。自分が仏像になりすまし、男に言われて形を直すうち正体がばれてしまう」という話。

雨天時は同市東浜砂町の延岡総合文化センターに会場を移す。日時に変更はない。

チケットは指定S席8千円、自由A席5千円。ほかぎ、ファクス、メールのみで受け付けている。指定S席1万円は完売した。詳しくは同交流機構(☎延岡33・0248)へ。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、座席を従来の半数となる650席に限定し、入場の際は検温、手指消毒、マスク着用、名簿作成などの対策を徹底する。

(7面に関連記事)